

認知症の正しい理解のために

認知症は脳の病気、単なるもの忘れとは異なります

認知症とは、脳に起きた何らかの障害によって、いったん獲得された知的機能（記憶する、時・場所・人などを認識する、計算するなど）が低下し、日常生活を送ることが困難になる病気です。

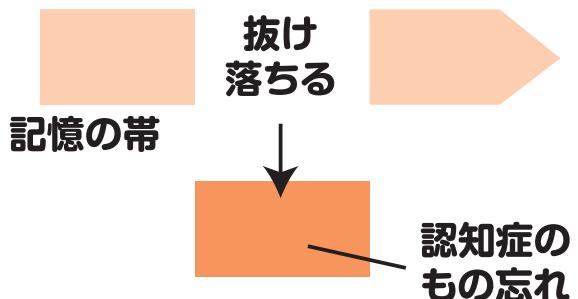
※代表的な原因疾患・・・アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症

健常なものの忘れ



健常者は、体験の一部のみを忘れるので、体験の他の記憶から、もの忘れした部分を思い出すことができる。もの忘れを自覚している。

認知症のものの忘れ



認知症の人のもの忘れは、体験全体を忘れているので、思い出すことが困難である。もの忘れを自覚できない。

著しい記憶・認知障害のために生活に支障をきたします

著しい ものの忘れ

体験の
つながりがない



いつも不安な気分
パニック状態

場所の
見当がつかない
正しい状況が
つかめない



簡単な道具の
操作ができない



徘徊
間違い行動

徊
徊

徊
徊

間違い行動